

令和 4 年度（2022 年度）公益財団法人吹田市国際交流協会 事業報告書

令和 4 年度(2022 年度)に開始した吹田市委託事業吹田市多文化共生相談ワンストップセンターの運営は、公益財団法人吹田市国際交流協会(以下「協会」という。)の事業すべてに関連し、協会事業のハブ的な役割を担うようになってきました。事業開始に注力したため、その他の事業は全体を通して令和 3 年度の事業内容を継続するような実施となりました。一方、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により多文化まつりやホストファミリー事業を含めた国際交流関連事業は実施に至りませんでした。

協会の令和 4 年度の実施事業の特徴は主に以下の 4 点です。

- 外国人相談窓口「吹田市多文化共生ワンストップ相談センター」の開設及び運営
令和 2 年(2020 年)年春に始まった新型コロナウイルス感染症拡大にともなう大きな社会変化の中、在住外国人からの相談はほとんどありませんでした。しかし、令和 2 年度だけでも、府内の他の国際交流協会に寄せられた吹田市在住・在勤・在学している外国人からの相談件数は、およそ 230 件にのぼりました。協会が地域の在住外国人に相談できるような組織となっていなかったことは、協会運営における大きな反省となりました。そのような経緯等を踏まえ 10 月に同センターを開設し、相談事業の開始から半年が経過し地域にその存在が浸透していく中で、相談件数は徐々に増えています。相談内容と多言語相談員の意見を通して、地域のニーズが見えやすくなり、今後の効果的な事業運営につなげていくことが可能になりました。
- 関係機関や地域団体との連携による定例事業やイベント等の実施
相談事業では、他機関とつながる機会が増え、大阪府国際交流財団(以下「OFIX」という。)と共催で合同弁護士相談会を開催しました。また、地域団体からは、災害時のやさしい日本語や外国人の人権等に関する研修の依頼件数が増加しました。令和 4 年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、多文化まつりを実施することができませんでしたが、OFIX と共催で吹田市直千里山コミュニティセンターにおいて「多文化ゲーム大会」を開催するなど、外国人市民と地域の人たちが交流する楽しい交流イベントとなりました。また、西宮市・尼崎市・豊中市・吹田市による中核市連携 NATS において、多文化共生担当者会議を定期的に開催し、情報共有や相談員の研修会を開催しました。
- ボランティアのマネジメント方法に係る見直し作業の実施
公益財団法人に移行して 10 年が過ぎようとしています。基本的なボランティア・マネジメントの方法は、10 年間変わらずに運営してきました。そのため、一般的に社会で醸成されてきているボランティア意識やマネジメント方法を参考に、考え方や運用方法の整理が必要な状況です。令和 4 年度は職員研修やボランティアと一緒にワークショップを実施しましたが、協会運営にとってボランティアは重要な役割を担っており、そのマネジメントの見直しは引き続き取り組むべき課題です。
- 協会運営検討ワーキンググループの設置
長引く新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化した協会の経営状況と業務状況の改善をするために、委員には外部委員や吹田市も参加し、積極的に改善策について提案や助言をいただくことができました。その一つとして、財団法人の基本に立ち戻り、2 月から 3

月にかけてクラウドファンディングを実施しました。クラウドファンディングでは、130 名を超える方からご支援をいただきました。協会の活動を応援して下さる方たちの声が直接職員に届き、大きな励みとなりました。協会の経営状況の改善と業務改善は、令和 5 年度(2023 年度)も引き続き最優先で取り組む協会の課題です。

I 市民主体の国際交流・国際協力

市民の自主的な国際交流・国際協力の活動を支援します。自分たちとは異なる言語、文化的・社会的背景をもつ人びととの対話を通して、市民が国際感覚を養い、多様な人びとを認め合い尊重し合う多文化共生社会の実現を推進します。

1. 国際交流推進事業(旧 友好交流都市との交流事業) [補助金事業]

新型コロナウイルス感染症の影響で姉妹都市との交流をはかることが難しい状況となっていました。友好交流都市の範囲を超えて市民主体の国際交流という視点に立ち、「知る、出会う、交流する機会(場)づくり」をコンセプトに、多様な人との繋がり場をつくりました。オンラインを利用して、語学学習と併せて事業を実施しました。

「ベトナムの言葉と文化」講師：Pham Phi Hai Yen

日時：1月12日(木)、1月19日(木)、1月26日(木)

内容：講師がベトナムから、オンラインにて講義をしました。ベトナムの旧正月の文化や習慣について、中心都市ホーチミンやハノイの観光地の紹介をしました。学習者からは、ベトナムに行っている感覚になり、まさに国際交流しているという感想がありました。

2. 国際交流情報の収集及び発信 [補助金事業]

(1) 会報SIFA Timesの発行

7月号より、内容とデザインをリニューアルしました。これまで主に事業報告だった内容を、協会に関わるボランティアや学習者あるいは団体等の紹介に焦点を当てた内容に変更し、年4回発行しました。

281号(1,800部発行) 特集：語学教室講師照会

282号(1,600部発行) 特集：吹田市多文化共生ワンストップ相談センター

283号(1,800部発行) 特集：日本語教室紹介

284号(1,800部発行) 特集：ボランティア事業

発送作業ボランティア 延べ参加者数 2850人

(2) 国際交流情報の収集及び発信

ホームページとフェイスブック多言語化、留学生や在住外国人向けの多言語メールマガジンを「ミミヨリINFO」などの活用により、適切な情報発信に努めました。

(3) ホームページによる情報発信(吹田市補助金事業)

ホームページは、週1回の更新を目標とし、担当者で記事選定を行いました。記事の作成は、協会スタッフで分担し、負担軽減を図るとともにスタッフのスキルアップの機会としました。

公開記事数：85件(SIFA関連50件、その他団体35件)

3. 市内大学との連携による留学生等と市民の交流 [補助金事業]

(1) 市内大学等のホストファミリープログラムの支援

市内の大学などのホストファミリープログラムの支援は、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、留学生の来日が困難であったこと、また交流活動を控える社会的状況であったことから、事業は中止となりました。例年実施してきたホストファミリーボランティア説明会兼研修会と、ホストファミリー交流会も併せて中止しました。

令和5年度の留学生を対象としたホストファミリー活動を検討するにあたり、諸団体から意見を聞くための第52回大阪大学留学生ホストファミリープログラム連絡協議会が開催されました。

II 国際化推進の人づくり支援

多文化共生社会の推進のために、市民が他者理解の重要性を理解するための機会を増やし、未来を担う子供たちが多様な人たちとの出会いや交流・体験学習をとおして、持続可能な社会形成のために活躍できる人材づくりを推進します。

1. 国際交流ボランティア活動支援

(1) 国際交流ボランティア登録

ア 令和5年度新規ボランティア登録説明会

初めてボランティア活動をしようとする希望者を対象に、説明会を開催しました。協会の理念やボランティア活動の内容について説明をおこない、国際交流ボランティア登録を実施しました。今年度は、オンライン参加に関しては定員を設けず募集をしました。また、例年説明会で実施していたボランティア講座は別途ボランティア研修の日を設けて実施することとし、説明会では協会の理念や事業紹介のみ行いました。

日時：2月23日(木)10:00～11:30

参加者：オンライン56人、現地13人

イ 令和4年度度ボランティア追加募集・登録

ボランティアが不足している活動に限り、ボランティアを追加募集し登録説明会を開催しました。登録説明会の前に、ボランティア活動希望者にはそれぞれ活動を見学してもらいました。説明会に併せて、ボランティア活動に関する講座(内容等は、(2)ボランティア講座に記載)を開催し、協会の理念や活動内容について説明をしました。

日時：9月23日(金)10:00～11:30

参加者：7人

募集事業：日本語チューター(夜クラス)、ハロハロ SQUARE、にこにこ日本語、保育

(2) ボランティア講座 [補助金事業]

ア SIFA 日本語ボランティア研修「はじめての日本語ボランティア」

SIFA 日本語ボランティア教室への参加を希望するボランティア登録者を対象に、やさしい日本語やボランティアの心構えなどの講座を開催しました。希望者が参加しやすいよう、同じ内容の講座を平日と土曜日に2回実施しました。

「はじめての日本語ボランティア」

日程：4月1日(金)、4月2日(土)

講師：榎原 智子(SIFA 日本語講師)

参加者：23人(1日 13人、2日 10人)

イ ボランティア活動希望者を対象にした講座

初めてボランティア活動に参加する市民向けに、ボランティアの心構えなどに関する講座を開催しました。

「はじめてのボランティア活動」

日時：9月23日(金)10:30～11:00

講師：矢野 眞里加(吹田市立市民公益活動センターラコルタ)

参加者：7人

ウ ボランティア・マネジメント研修(内部研修)

ボランティア・コーディネーターについて、スタッフとボランティアの役割等に関する研修を実施しました。また、ボランティア活動での困りごとなどを共有しました。

「ボランティアとスタッフのより良い関係づくりに向けて」

日時：9月2日(金)14:15～15:15

講師：春貴 いさお(吹田市立市民公益活動センターラコルタ センター長)

参加者：5人

(3) ボランティアによる日本語学習支援 [補助金事業]

ア 日本語チューター

ボランティアと学習者が1対1又は1対2で日本語習得支援を行います。学習者の日本語レベルや要望はさまざまなので、それぞれに寄り添った支援をしました。

日時：朝チューター 全40回

(4月12日～3月14日 毎週火曜日 90分 ※8月活動なし)

夜チューター 全40回

(4月13日～3月22日 毎週水曜日 90分 ※8月活動なし)

オンラインクラス 全651回

(4月6日～年3月31日 毎週決まった曜日 9時～21時までの90分)

場所：市民公益活動センターラコルタ、協会、各種オンラインツール

参加者：朝チューター 延べ参加者数381組

夜チューター 延べ参加者数360組

オンラインクラス 延べ参加者数1039組

参加費：500円/月

イ にこにこ日本語

外国人学習者とボランティアの小グループにおける「おしゃべり活動」を通して、ボランティアが日本語習得の支援をしました。協会が作成した対話型教材「はじめてのにこにこ」と「にこにこ」を使用し、生活に密着したさまざまなテーマについて、おしゃべり活動を実施しました。

日時：全 42 回(4 月 9 日～年 3 月 18 日 毎週土曜日 10:00～11:30 ※ 8 月活動なし)
班構成：1 班～4 班。1 班は日本語入門レベルクラス、テキスト『はじめてのここここ』を使用。
2～4 班はテキスト『ここここ日本語』を使用。
場所：協会教室、ラコルタ、市民センター
参加者：学習者在籍 19 人 延べ参加者数 503 人、ボランティア在籍 23 人
延べ参加者数 443 人
参加費：500 円/月

ウ みんなの漢字

外国人学習者とボランティアが小グループで、プリント教材を使って、生活のさまざまな場面で目にする漢字を学びました。

日時：全 42 回(4 月 9 日～3 月 18 日 毎週土曜日 11:45～13:15 ※ 8 月活動なし)
班構成：1～2 班。日本語初級者と初級以上の学習者でレベルを分けて実施。
場所：協会
参加者：学習者在籍 11 人、ボランティア在籍 11 人、延べ参加者数 233 人
参加費：500 円/月

エ 日本語わいわい

外国人学習者とボランティアが小グループで「わいわい」おしゃべり活動を通して、ボランティアが日本語習得の支援をしました。外国人ボランティアも日本で暮らす「先輩」として参加しました。今年度はグループの固定をせず、日本語のレベル分けをせずに実施しました。

日時：全 41 回(4 月 8 日～3 月 17 日 毎週金曜日 10:00～11:30 ※ 8 月活動なし)
場所：協会、ラコルタ、市民センター
参加者：学習者 在籍者 9 人 延べ参加者数 209 人
ボランティア在籍者 25 人 延べ参加者数 440 人
参加費：500 円/月

2. 語学教室[自主事業]

学習者の知識や技術習得だけでなく、さまざまな国の文化や生活習慣を知る機会を提供し、外国語に慣れ親しむことを手始めに国際理解の意識を高め、地域でともに生活する隣人としての外国人支援の重要性を伝えました。また、子どもたちは英語学習を通して国際理解を深める機会ともなり、協会はグローバル人材の育成に努めました。

開講言語：英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語

参加登録人数：281 人(通年クラスは 2 月時点の受講者登録数)

(1) 通年クラス

【英語】

大人クラス

講師：Hosea Lee Baker III、Nhon Nguyen、Douglas Rodger James、Marc-Eric Tremblay、Valles Ruben、Karen Miyuki Egawa、Liliana Diankova

高校生クラス

講師: Valles Ruben

中学生クラス

講師: Valles Ruben

親子(幼児)クラス

講師: Brian Rowlinson、Diankova Tatsumi Liliana

小学生クラス

講師: Brian Rowlinson、Douglas Rodger James、Karen Miyuki Egawa、Diankova Tatsumi Liliana

【中国語】

講師: 山口小百合

【韓国朝鮮語】

講師: 朴家英

【ベトナム語】

講師: ファム フィ ハイ イェン

[表1 語学教室のクラス数と学習者数]

講座名	クラス数	学習者数
大人(レベルクラス)	14	99人
大人(テーマクラス)	5	33人
オンライン	1	4人
旭通教室	2	9人
高校生英語	1	4人
中学生英語	1	4人
親子(幼児)英語	4	17人
小学生英語	9	50人
中国語	2	13人
韓国朝鮮語	3	27人
ベトナム語	2	8人

※高校生英語は2学期～不開講

(2) 短期クラス

[表2 短期教室(大人)]

英語でスケッチ	Nhon Nguyen	
1)5月18日～7月20日	10回	9人
2)10月7日～12月9日	10回	7人

英語でチャット	Nhon Nguyen	
1)5月20日～7月22日	10回	4人
2)10月7日～12月9日	10回	5人

ジョークで英語を楽しむ	Hosea Lee BakerⅢ	
10月3日～12月12日	10回	8人
英語でペインティング	Nhon Nguyen	
1月6日～3月10日	10回	6人

[表3 短期教室(小学生)]

英語で遊ぶゲームクラス	Rodger Douglas	
10月4日～12月6日(小学1・2年生)	10回	12人
アルファベットと学んでことばをつくってみよう	Rodger Douglas	
1月10日～3月14日(小学1・2年生)	10回	5人

[表4 短期教室 韓国朝鮮語]

すぐに見える韓国語フレーズ	朴家英	
5月17日～7月19日	10回	9人
ドラマあるある講座	朴家英	
10月4日～12月6日	10回	9人
韓国語のドラマ、文化、歴史を学ぼう	朴家英	
1月10日～3月14日	10回	7人

(3) キッズサマークラス

[表5 キッズサマークラス]

小学1・2年生初心者①	Ruben Valles	
8月1日～8月3日	3回	6人
小学1・2年生初心者②	Rodger Douglas	
8月1日～8月3日	3回	6人
小学1・2年生経験者	Rodger Douglas	
8月1日～8月3日	3回	4人
小学3・4年生	Hosea Lee BakerⅢ	
8月1日～8月3日	3回	8人
小学5・6年生	Hosea Lee BakerⅢ	
8月1日～8月3日	3回	5人

3. 異文化理解・啓発事業

(1) 多文化まつり [補助金事業]

令和4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催できませんでした。

(2) 多文化共生講座「多文化ぷらす」 [補助金事業]

民族や国籍、文化的・社会的背景、言語などの「違い」を認め合い、お互いに対話ができる市民として共に暮らす豊かな地域づくりのために講座を開催しました。

- ・「地域をつくるボランティア活動～とよなか国際交流協会の活動事例から～」

日時：11月6日(日) 9:30～11:30

場所：千里市民センター 多目的ルーム

講師：山野上 隆史((公財)とよなか国際交流協会事務局長)

参加者：19人

内容：ボランティアと協会スタッフの役割の違いやそれぞれの視点について理解を深めました。ボランティア活動にとって大切にしていることについてワークショップをしました。

- ・「国連からみた多文化共生社会」

日時：12月4日(日) 13:30～15:30

場所：花とみどりの情報センター

講師：星野 俊也(大阪大学大学院教授・国際交流基金関西国際センター所長)

ファシリテーター：近藤 佐知彦(大阪大学国際教育交流センター教授・協会理事長)

参加者：23人

内容：国際政治学者であり国連大使も務めた経験のある講師に、国連での仕事の内容や経験を語ってもらい、これからの異文化理解や地域における多文化共生社会の促進のために何が必要かを考える機会となりました。

- ・「あるいて発見！きいて発見！～多様化する福祉の現場から～」

日時：2月11日(土) 9:00～12:00

場所：浜屋敷

講師：吉川 靖枝(介護福祉士・理学療法士／サービス付き高齢者向け住宅運営)

参加者：17人

内容：まずは、ボランティアガイドと旧吹田村を歩きました。その後、浜屋敷にて市内で福祉施設を運営している中国出身の講師より、日本で生活していく中で、自分のアイデンティティを大切にしながら様々な資格を取得し現在の仕事をするに至った話がありました。また、文化において身体観や健康観について異なることなどを考える機会となりました。

4. 国際理解事業 [補助金事業]

小学校低学年向けの「がっこう編」、中・高学年向けの「食べもの編」「モノ編」の3種類を出前授業「国際理解パッケージ」とし、市教育委員会の「ドキドキワールド」の授業の一環として市内小学校において開講しました。パッケージは、コーディネーター(有償ボランティア)による各テーマ(食べもの等)の日本と世界のつながりについての話及びそれに関連したクイズ、外国人講師によるテーマに関するプレゼンテーション及び子どもたちからの質問コーナーで構成されています。

す。令和4年度は、コーディネーター3人、外国人講師延べ8人で実施しました。

開催回数：21回

受講者数：954人

【実施日/回数/小学校/学年/人数/テーマ】

- ① 11月7日/2回/吹田市立津雲台小学校/3年生3クラス/107人
「食べもの編 ポーランド」
- ② 11月14日/2回/吹田市立高野台小学校/3・4年生3クラス/81人
「食べもの編 中国」
- ③ 12月7日/2回/吹田市立北山田小学校/1年生3クラス/81人
「がっこう編 中国」
- ④ 12月9日/2回/吹田市立高野台小学校/1・2年生4クラス/99人
「がっこう編 ポーランド」
- ⑤ 1月13日/2回/吹田市立古江台小学校/2年生3クラス/96人
「がっこう編 タイ」
- ⑥ 1月25日/2回/吹田市立津雲台小学校/5年生3クラス/96人
「モノ編 中国」
- ⑦ 1月27日/2回/吹田市立古江台小学校/1年生4クラス/117人
「がっこう編 タイ」
- ⑧ 2月2日/2回/吹田市立古江台小学校/3年生3クラス/95人
「食べもの編 ブラジル」
- ⑨ 2月13日/2回/吹田市立北山田小学校/2年生2クラス/71人
「がっこう編 中国」
- ⑩ 2月20日/2回/吹田市立江坂大池小学校/6年生2クラス/68人
「食べもの編 トゥルクメニスタン」
- ⑪ 3月14日/1回/吹田市立高野台小学校/6年生2クラス/43人
「モノ編 中国」

5. 国際交流団体等支援・連携事業

(1) 共催・後援・協力事業の実施 [自主事業]

・多文化交流ゲーム大会

OFIX主催の国際理解教育事業を担う外国人サポーターの体験を通して、留学生と地域住民の交流を促し、多文化共生を実現する目的のイベントを実施しました。外国人講師が母国のゲームを紹介し、イベント参加者で行いました。イベントの途中で参加者が事前に準備した歌やクイズのパフォーマンスも実施しました。

日時：11月19日(土) 14:00-16:00

会場：吹田市立千里山コミュニティセンター

参加者：26人

・弁護士による外国人のための1日相談サービス

言語や費用の面で弁護士に相談できない外国人向けに、大阪弁護士会の協力を得て相談会を行いました。法律面だけでなく生活相談コーナーも設けました。吹田市多文化共生ワンストップ相談センターにおける継続相談の相談者を案内できました。近隣国際交流協会での周知

による相談者の参加もあり、情報を共有し、共同実施の重要性を再認識しました。

日時：1月29日(日) 13:00～16:00

相談員：弁護士 3人、OFIX 相談員 2人

相談者人数：6人

内容：在留資格 2件、法律 1件、生活 3件、離婚 1件

言語：日本語 2件、英語 3件、中国語 1件

出身国：中国、シリア、セルビア、ベトナム

共催：国際交流協会ネットワークおおさか

・外国人向けの合同オンライン相談事業

大阪府国際交流財団主催の外国人向けオンラインによる相談事業に参加しました。

日時：3月20日(月) 9:00～20:00

3月22日(水) 9:00～17:30

3月23日(木) 9:00～17:30

3月24日(金) 9:00～20:00

3月26日(日) 13:30～16:30

共催：(公財)大阪府国際交流財団

(2) MUSE たかつきカレッジクラブ講座 [関大パンセ委託事業]

株式会社関大パンセより委託されている小学生を対象とした英語教室を開催しました。本年度は、2コース各6回ずつ全12回実施しました。

日時：6月3日、10日、17日、24日、7月1日、8日(毎週金曜日)

Aコース 小学校1～2年生対象 16:00～16:50

Bコース 小学校3～6年生対象 17:00～17:50

講座名：Easy Peasy English

講師：Douglas Rodger James

受講者数：Aコース 延べ参加者数54人、Bコース 延べ参加者数24人

(3) 関西大学南千里国際プラザとの連携 [自主事業]

春と秋に開催された関西大学別科の入学式、修了式へ出席し(オンライン含む)、地域団体の代表として挨拶をしました。地域の中での受け入れ支援体制について、情報提供などに努めました。

(4) 国際交流協会ネットワークおおさかを通じた他団体との連携 [自主事業]

大阪府内の国際交流協会による「国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会」(構成11団体)に参画し、ボランティア団体や国際交流関係団体、機関などとのつながりの場を作り、さまざまな情報交換を行い、広域的な相互連携、協力できる体制を継続しました。

定例会：毎月1回

場所：大阪国際交流センター(オンライン併用)

構成団体：池田市市民活動部人権・文化国際課、和泉市総務部人権・男女参画室、(公財)大阪国際交流センター、(公財)大阪府国際交流財団、(公財)吹田市国際交流協会、(公財)とよなか国際交流協会、(特活)とんだばやし国際交流協会、(公財)箕面市国際交流協会 / オブザーバー：大阪府都市魅力創造局国際課、

(5) 吹田市国際交流団体ネットワークほかとの協力連携 [補助金事業]

各活動団体と連絡し、団体の代表や活動状況について電話やメールで確認をしました。新型コロナウイルス感染症の影響で、ネットワーク会議の開催には至りませんでした。

Ⅲ 在住外国人の支援

1 日本語教室の開催 [吹田市委託事業]

入国制限が少しずつ緩和され、新規入国者数が増えたことにより、入門クラスの学習者が前年度より増加しました。学習者は、近隣大学の留学生及びその家族が多い傾向があります。また、今年度についてはウクライナ避難民の方も参加していました。

(1) 日本語1・2(入門・初級クラス)

ア 日本語1・2

短期間で生活に必要な一定レベルの日本語を学ぶことができるクラスです。日本語教師有資格者が講師としてテキストを用いて、日本語 1 (入門レベル) と日本語 2 (初級レベル) のクラスを開講しました。1回90分のクラスを週2回実施しました。午前中のクラスには、ボランティアによる保育を設けました。

日時: 4月1日(金)~3月23日(木)

月曜日、木曜日: 10:00~11:30、13:00~14:30

回数: 日本語1 全83回、日本語2 全83回

場所: 協会

講師: 後藤 範子、榎原 智子(日本語教師有資格者)

参加者: 日本語1 817人、日本語2 589人

イ サマーコース(ひらがな・かいわコース)

通年クラスの夏休み期間中に、日本語1・2の学習者と新たに日本語の学習を希望する人を対象に4日間連続の講座を実施しました。講座内容は、秋以降の後期クラスにおいて円滑に日本語の学習が開始できるように、日本語学習の1・2の復習を中心にひらがなと会話のクラスを開講しました。

日時: 8月22日(月)~8月25日(木)

回数: ひらがなコース 全4回(10:00~11:30)

かいわコース 全4回(13:00~14:30)

場所: 協会内教室

講師: 後藤 範子、榎原 智子(日本語教師有資格者)

参加者: ひらがなコース: 39人、かいわコース: 36人

ウ オンライン会話クラス

日本語1・2のクラスでは会話の練習時間が十分ではないため、入門から初級レベルの学習者を対象として、日本語1・2の冬休みの期間を利用して会話練習を中心としたクラスを開講しました。

日時：1月24日・31日、2月7日・14日(毎週火曜日) 10:00～11:00
回数：全4回
方法：オンライン
講師：後藤 範子、榎原 智子(日本語教師有資格者)
参加者：18人

エ 日本語教室発表会

協会の日本語教室の学習者による日本語による発表会を開催しました。日本語でスピーチを行うことで、学習成果を発表するだけではなく、日本語で自分の気持ちを伝え、地域住民との交流をはかる機会となりました。昨年引き続き、YouTubeでのライブ配信をしました。

日時：12月11日(日) 10:00～12:00
場所：吹田市立市民公益活動センター(ラコルタ)
参加者：発表者10人、観覧者29人、配信視聴者22人

(2) 使える日本語 [自主事業]

中級レベルの学習者を対象に、講師がテキストを使用して授業を行いました。令和4年度はオンラインクラスとして開講し、協会の日本語教室の日本語2に参加していた学習者が参加しやすいような時間帯で開講しました。

日時：4月13日～3月22日(毎週水曜日) 10:00～11:30 全40回
方法：オンライン
参加者：延べ227人
参加費：1,100円/回

(3) しごとでつかえるにほんごかいわ [自主事業]

在住外国人のキャリアアップ支援の一環として、職場で使える日本語を習得するとともに、日本の企業文化に対する理解を深めることを目的に実施しました。

日時：10月1日～12月3日(毎週土曜日) 10:00～11:30 全10回
場所：旭通教室
参加者：4名
参加費：1,200円/回

2. コミュニティ通訳ボランティア同行事業

(1) コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業 [補助金事業]

日本語による会話が十分でない外国籍市民がことばの壁により医療機関を受診する機会が失われぬように、『コミュニティ通訳ボランティア同行事業に関する覚書』に基づいて、協会に登録しているコミュニティ通訳ボランティアが同行し通訳をしました。病院からの依頼は外来での診察・検査時の通訳が多く、保健センターからは乳幼児の定期健診が主な依頼内容でした。

同行先：提携病院(吹田市民病院、済生会吹田病院、済生会千里病院)、
保健センター(母子保健課)

登録者：コミュニティ通訳ボランティア:15名(英語8名、中国語7名)

依頼件数： 74 件

4月4件、5月7件、6月10件、7月6件、8月22件、9月4件、
10月4件、11月6件、12月2件、1月2件、2月3件、3月4件

依頼言語： 中国語 55 件、英語 19 件

(2) コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行・スキルアップ事業 [吹田市委託事業]

ア コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行

外国籍市民が吹田市役所等で各種手続きや相談を行う際に、協会のコミュニティ通訳ボランティア養成講座を修了した有償ボランティアが同行通訳を行い、円滑な手続きや相談のサポートをしました。

同行先： 吹田市役所庁舎内(市民課、放課後子ども育成室、高齢福祉室他)27件、
市内こども園及び小学校等 100件

登録者： 行政通訳ボランティア 25名(英語12名、中国語6名、韓国朝鮮語1名、
タイ語1名、ベトナム語1名、フランス語3名、ネパール語1名)

依頼件数： 127 件

4月:19件、5月:15件、6月:14件、7月:7件、8月:6件、9月:7件、
10月:11件、11月:12件、12月:11件、1月:4件、2月:12件、3月:9件

依頼言語： 英語 95 件、 中国語 16 件、韓国朝鮮語 3 件、ネパール語 3 件、

イ 行政通訳ボランティア養成講座実施

今年度は、ボランティア登録の少ない言語(ネパール語、タイ語、ベトナム語)及び今後必要性が見込まれるフィリピン語の受講生を募集しました。タイ語3人、ネパール語1人、ベトナム語1人の受講希望者がいましたが、フィリピン語の受講生はいませんでした。コミュニティ通訳ボランティアの専門家による講義と市の担当課職員による講義(事前にビデオ録画したものを自宅で視聴)を受講し、修了試験を実施しました。修了した人は、ボランティアガイダンスに参加してもらい、令和5年度より活動します。

登録者： タイ語 2 人、ネパール語 1 人、ベトナム語 1 人

【講義】(オンライン)

日時： 1月20日(金)13:00~15:30、21日(土)10:00~12:30

講師： 水野真木子(金城学院大学)

内容： コミュニティ通訳概論・倫理、基礎トレーニング等

【ビデオ視聴学習】

期間： 1月22日(日)~2月19日(日)

講師： 各担当課担当者(吹田市役所市民課、国民年金課、保育幼稚園室、教育委員会)

内容： 転入転出に必要な窓口手続き・国民年金制度の概要について(市民課)、保育園・幼稚園の入園手続きや園生活の紹介等(保育幼稚園室)、入学手続き等(教育委員会)等、場面ごとのロールプレイ

【修了試験】(各言語)

日時： 2月20日(月)~3月2日(木)

場所： 協会

内容： 各言語によるロールプレイ、翻訳

ウ コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行スキルアップ事業

スキルアップ研修は、病院通訳ボランティアと行政窓口同行通訳ボランティアと合同で 2 回開催しました。

日時：9月29日(木)13:30～15:30

場所：協会での対面／オンライン

講師：山田 春香(吹田市社会福祉協議会)

内容：(1)災害発生時の体制(災害ボランティアセンターなど)について、(2)災害への備え、普段からの人・地域の繋がりづくりについて

参加者：16名

日時：2月24日(金)10:00～11:20

場所：こども発達支援センター杉の子学園

講師：飛嶋由華

内容：園施設見学及び施設や療育の理念、学園で受けられるサービスや先生方が子どもたちを預かる上で大切にしていることなど

参加者：6名

3. 地域事業への在住外国人の参加促進 [補助金事業]

日本語教室に通う学習者や留学生の多くが登録している多言語メールリスト「ミミヨリ INFO」を活用し、新型コロナウイルスやワクチン接種の情報はじめ、市民公益活動団体や地域の商店街などが主催する地域行事等に、在住外国人が参加しやすくなるよう SNS 等を利用して情報提供をしました。また、地域団体等から紹介された事業やイベント等について、協会が日本語の学習者や窓口において情報提供をしました。

4. 外国にルーツをもつ子どもの支援

(1) ハロハロ SQUARE(外国にルーツをもつ子どもの学習支援事業) [補助金事業]

ア 定例事業

外国にルーツをもつ小学生から高校生の学習支援をしました。学校の勉強や日本語学習などそれぞれの課題をボランティアと一緒に学習しました。子どもたちが安心できる居場所となるように、学習以外にもボランティアと将来のことや学校生活についての話し合い、ゲームタイムやお楽しみ会を実施しました。

日時：4月8日～3月24日(毎週金曜日) 18:00～20:00 全43回

参加者数：子ども 延べ761人、ボランティア 延べ507人

イ 春休み・夏休みの自習室、お楽しみ会

休業期間中は、宿題や自主課題のフォローを行うため、自習室を開きました。また、各学期の最終日はお楽しみ会を開きました。2学期のお楽しみ会において作成した「〇×クイズ」の問題は、吹田市芸術芸能フェスティバル(場所メイシアター)に展示しました。

[夏休み自習室]

日時：7月29日(金)、8月5日(金)、8月19日(金)、8月26日(金) 全4回

参加者：子ども 延べ 29 人、ボランティア 延べ 20 人

[春休み自習室]

日時：3月28日(火)、3月31日(金)、4月5日(水)

参加者：子ども 延べ 10 人、ボランティア 延べ 12 人

[お楽しみ会]

日時：7月11日(月)、12月23日(金)、3月24日(金)

参加者：子ども 延べ 48 人、ボランティア 延べ 31 人

(2) 帰国・渡日児童生徒支援事業 [自主事業]

大阪府教育庁「帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業」三島地区実行委員会が主催する「多言語進路・学校生活サポートガイダンス」を通して、高校進学など進路選択のための情報提供と相談に協力しました。

日時：10月15日(土)13:30～16:00

場所：高槻市総合センター

参加者：ハロハロ SQUARE から 5 人

5. 子育て支援「こあらくらぶ」 [補助金事業]

外国人ママ・パパの日本での子育ての不安を和らげられるよう、悩みごとを話して共感したり情報共有ができるような交流の場をつくりました。子育て中の外国人と同じ世代のボランティアが参加し、絵本の読み聞かせや手遊び、季節の行事などを盛り込んだ活動をしました。また、日本人親子も参加可能とし、子育てを通して地域のつながりができるよう支援しました。

日時：毎月水曜日(月1回)年間10回

場所：協会、ラコルタ、市民センター、公民館、図書館、子育て支援センター、千里南公園

参加者：参加組数延べ 68 組(外国ルーツの親子 延べ参加組数 48 組)

ボランティア参加者数延べ 25 人

[表 6 こあらくらぶの開催日と参加者について]

開催日	内容	参加 組数	うち外国ルーツ	大人	子ども	ボランティア
5月17日 (火)	防災ピクニック	5組	4組	5名	7名	3名
6月1日 (水)	運動会とママのおしゃべり会	7組	4組	8名	7名	3名
7月6日 (水)	子育て支援センター行こう	9組	6組	11名	8名	3名
9月28日 (水)	図書館に行こう	2組	1組	3名	3名	2名
10月19日 (水)	公園に行こう	13組	11組	15名	13名	3名
11月16日 (水)	アートにふれよう	9組	7組	9名	8名	2名
12月7日 (水)	正月あそび	3組	3組	3名	3名	2名
1月26日 (木)	親子ヨガ	5組	2組	5名	5名	2名
2月16日 (木)	子育て支援センター行こう	9組	4組	9名	8名	3名
3月6日 (月)	ひなまつり	6組	6組	6名	6名	2名
合計		68組	48組	74名	68名	25名

6. 防災減災事業

ア 防災事業のための地図作成 [補助金事業]

吹田市外国籍人口統計を活用し、0才から14才、15才から65才、66才以上の3グループについて、小学校区ごとに国籍・在留資格別にデータを分析し、マッピングをしました。

イ 地域国際化推進アドバイザー派遣(一般財団法人自治体国際化協会)

テーマ：「災害時の外国人支援に係る検討会」

日時：7月15日(金) 14:00～17:00

講師：高木和彦(NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事)

吉川友香(大阪府国際交流財団)

ウ 多文化共生社会におけるこどもの命を守るための防災事業 [令和3年8月～令和4年7月 真如苑 Shinjo プロジェクト市民防災減災事業助成金(単年度のみ)]

子育て世代の外国人市民と地域住民を対象とした防災事業に取り組みました。日頃からの地域住民とのつながりが重要だと考え、その紐帯を育むために地域の子育てサークル等との連携強化に取り組み、協会の日本語事業に参加している学習者も一緒に防災教室を開催しました。また、災害時に役立つ情報を動画にし、YouTubeにおいて多言語で配信をしました。

アドバイザー兼防災教室講師：松村直子(日本ミクニヤ・防災士)、村上典子(NPO法人多文化共生マネージャー全国協議会)

【令和3年度実施内容】

- ・産科医による健康セミナーと防災士による防災教室の実施
- ・日本語わいわいの外国人学習者・ボランティア、行政職員、社会福祉協議会等を対象とし、さまざまな立場の人がともに防災について考えるワークショップを実施

【令和4年度実施内容】

- ・防災をより身近なものに感じてもらえるよう、協会の日本語教室の学習者が出演した防災についての動画を3本作成し、協会ホームページで公開しました。英語・中国語・韓国語・朝鮮語・インドネシア語・ベトナム語・ロシア語・ウクライナ語の7か国語の字幕をつけた。

日時：防災動画撮影日 3月15日、5月23日

場所：協会、千里丘地域備蓄倉庫

参加者：出演者6人(学習者3人、吹田市危機管理室職員3人)

動画1：「防災グッズを作ってみよう！」(紙食器・ペットボトルランタン作成)

動画2：「防災グッズを買いに行こう！」(100円ショップで買える防災グッズ紹介・簡易トイレ作成)

動画3：「災害についてわからないことを聞いてみよう！」(吹田市危機管理室職員へのインタビュー、千里丘地域備蓄倉庫見学)

7. 吹田市多文化共生ワンストップ相談センター [吹田市委託事業]

吹田市における多文化共生社会の実現を目指し、在留外国人の方が、在留手続き、雇用、医療、福祉、出産・子育て・子どもの教育等、生活する上での困りごとを多言語で一元的に相談できる窓口の開設をしました。5月から9月まではセンター開設のための準備期間、10月からセンターの運営を開始しました。相談センターの開設と同時に、センター専用のホームページを立ち上げま

した。ホームページから、メールで相談を申し込むことができるようにしました。また、毎月吹田市と協議の上、掲載する情報を「市報すいた」等から3つ程度選定し、やさしい日本語を含む9言語にして発信した。

【事前研修】

- ・「多文化共生ワンストップ相談センター事業についてのミッション」
日時:2022年8月29日(月) 13:30~15:30
講師:萩原昭広(大阪人間科学大学 人間科学部 社会福祉学科 助教)
- ・「対人援助の基礎を学ぶ」
日時:2022年9月15日(木)~16日(金) 13:30~15:30
講師:山中京子(コラボレーション実践研究所 所長・大阪府府立大学名誉教授)

【センターの運営】

実施日: 月曜日~金曜日 10:00~16:00

曜日別対応言語:

- ・ 月曜日、木曜日、金曜日: 日本語、英語、ロシア語
- ・ 火曜日、水曜日: 日本語、英語、中国語、ロシア語、韓国朝鮮語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ポルトガル語

受付方法: 来訪、電話、メール

場所: 協会 601, 602 教室

人員体制: 主任相談員1人、相談員1人、多言語相談員7人(コーディネーター1人)
(英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、ポルトガル語)

専門家相談会:

- ・ 行政書士: 12月14日(水)、2月7日(火)
- ・ 社会保険労務士: 12月27日(火)、1月18日(水)
- ・ 弁護士: 2月14日(火)、3月15日(水)

相談件数: 10月 14件、11月 20件、12月 31件、1月 33件、2月 44件、3月 32件

相談内容(入管庁の分類に従う):

- ・ 入管手続 13件(ビザ申請、永住権申請、就労許可取得)
- ・ 雇用・労働 15件(求職、就職先への提出書類、退職)
- ・ 医療 5件(医療機関受診、健康診断の申込、予防接種)
- ・ 出産・子育て、教育 22件(子どもの学習、子育て、入園・入学式)
- ・ 日本語学習 53件(日本語教室を探している、面接のための日本語)
- ・ 身分関係 9件(離婚、結婚、DV)
- ・ 通訳・翻訳 9件(医療通訳を探している、書類の翻訳)
- ・ 社会保険 8件(転入に伴う年金加入・住民票申請、年金制度説明)
- ・ 税金 2件(確定申告、納税、税務相談)
- ・ 住宅 3件(引越、住民トラブル)
- ・ その他(生活不安、大学研究、遺失物など)

国籍別(入管庁の分類に従う):

中国 32件、台湾 2件、韓国 3件、フィリピン 5件、インドネシア 7件、
ネパール 8件、スリランカ 1件、トルコ 0件、ブラジル 0件、ペルー 1件、

タイ 0 件、ベトナム 10 件、カンボジア 1 件、ミャンマー 0 件、モンゴル 5 件、
アフリカ諸国 4 件、欧米諸国 21 件、オセアニア 3 件、日本 15 件、ロシア 3 件、
ウクライナ 2 件、その他 45 件

【ホームページ】

言語：英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語、ネパール語、インドネシア語、タイ語、
ポルトガル語、やさしい日本語

件数：16 件

8. その他の外国人支援

(1) 行政情報などの提供 [補助金事業]

協会ホームページや日本語学習者や協会窓口や事業参加者へ、必要だと思われる行政情報(医療、進学等)の提供をしました。

(2) 外国人のキャリアアップにつながる支援 [自主事業]

外国人が自分のスキルを活かし活躍できる機会を提供するため、行政文書の翻訳を協会の関係する外国人に依頼しました。また、外国人が活躍しやすい社会整備のために、協会の活動に関連する内容の研修やセミナー等について、他団体からの要望に応じて協会が講師を請負いました。

【研修請負】

- ・ 11 月 11 日(金) 吹田災害支援ネットワーク 主催・場所：吹田市社会福祉協議会
参加人数：36 人 担当：大橋
- ・ 11 月 12 日(土) 災害時のやさしい日本語 主催・場所：千里山コミュニティセンター
参加人数：15 人 担当：オリガ、北山
- ・ 11 月 22 日(火) 国際交流をとおして気づいたこと 主催・場所：大阪学院大学
参加人数：50 人 担当：大橋
- ・ 11 月 28 日(月) 違いを活力に(多文化共生って?) 主催・場所：千里新田地区公民館
参加人数：15 人 担当：オリガ、北山
- ・ 12 月 6 日(火) 国際交流～非日常から日常へ～ 主催・場所：大阪府民カレッジ
参加人数：40 人 担当：大橋
- ・ 12 月 21 日(水) 外国人差別について(ヘイトスピーチ解消法) 主催・場所：島下組・大光寺
参加人数：25 人 担当：オリガ、北山

【講師派遣】

- ・ 8 月 20 日(土) 「やさしい日本語」研修会 主催・場所：淀川勤労者厚生協会
参加人数：30 人 担当：オリガ、藩
- ・ 12 月 17 日(土) 「やさしい日本語」研修会 主催・場所：淀川勤労者厚生協会
参加人数：30 人 担当：オリガ、アイン

【翻訳】

- ・ 見積書 7 件
- ・ 請負 6 件

IV SIFA賛助会員

協会の事業への理解と支援を得るために、令和3年度活動報告書を作成しました。

	令和4年度	令和3年度
個人会員	594名(598口)	438名(438口)
外国人会員	※個人会員として登録	124名(124口)
法人会員	9法人(9口)	12法人(12口)
合計	(607口)	(574口)

その他

【参加・協力】

・NATS 多文化共生担当者会議

日時： 5月26日(木) 14:00~16:00

7月4日(月) 15:00~16:00

8月29日(月) 10:30~11:30

9月22日(木) 13:00~14:30

10月27日(木) 14:00~16:00 NATS 共催 法の日週間記念講座開催

1月19日(木) 10:30~12:00

・吹田市多文化共生ワンストップ相談センターオープン記念 法の日週間記念市民講座

テーマ：「外国人の子どもの学習権」

日時： 10月27日(木) 14:00~16:00

場所： 吹田市立千里市民センター大ホール

講師： 夏目麻央(弁護士)

参加者： 42人

主催： 吹田市・(公財)吹田市国際交流協会

共催： 西宮市・尼崎市・豊中市(NATS)

(公財)西宮市国際交流協会・尼崎市国際交流協会・(公財)とよなか国際交流協会

・関西大学2022年度留学生別科入学式

日時： 4月2日(土) 13:00~13:30

日時： 9月24(土) 13:00~13:30

・関西大学2022年度春学期留学生別科修了式

日時： 9月9日(金) 13:00~13:30

日時： 3月10(金) 13:00~13:30

・2025年大阪・関西万博ラッピング列車 EXPO TRAIN 2025 大阪モノレール号イメージソング「We are」プロジェクト

日時： 10月31日(月) 19:00~21:00

参加者： 12人

主催： 株式会社大阪モノレール

【後援】

- ・事業名：ワールドキャンパス吹田訪問事業
主催団体：吹田国際隣人グループ SING
開催日：7月7日（木）～7月14日（木）
- ・事業名：第22回2022多民族共生人権研究集会
主催団体：第22回2022多民族共生人権研究集会実行委員会
開催日：7月29日（金） 10：30～16：30
- ・事業名：講演会とワークショップ「7カ国語で話そう」
主催団体：一般財団法人 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ
開催日：11月13日（日）～12月4日（日）
- ・事業名：（公財）箕面市国際交流協会 創立30周年記念事業
主催団体：（公財）箕面市国際交流協会
開催日：2月23日（木）13：30～16：00

【調査研究協力】

- ・多文化共生と国際交流について（青森県八戸市）
- ・令和4年度日本語教育実態調査への協力（文化庁国語課）
- ・SDGs探求学習「Take Action Project」への協力（箕面自由学園高等学校）
- ・「在日中国課程における子供の言語習得－「漢字」の教え方を中心にして」研究倫理審査への協力（大阪大学人間科学研究科・共生学系グローバル共生学講座（多文化共生学）・博士前期課程2年生）
- ・「地域における日本語学習支援に関して」の研究への協力（放送大学大学院 文化科学研究科修士課程1年生）
- ・大阪大学未来共生プログラムへの協力（大阪大学人間科学研究科 未来共生イノベーター博士課程プログラム 博士前期課程1年生）

【研修参加】

- ・「対人支援の基本について」
日時：7月14日（木）9：30～11：30
主催：大阪府地域国際化協会・国際交流協会ネットワークおおさか
- ・「外国人施策・入管の動向、それに向けた弁護士会等の取り組みについて～最近の著名事件等の影響も踏まえて～」
日時：11月15日（火）13：30～16：30
主催：大阪府地域国際化協会・国際交流協会ネットワークおおさか
- ・「2022年度 やさしい日本語ネットワーク会議」
日時：11月24日（木） 14：00～16：00
主催：（公財）大阪府国際交流財団
- ・「難民・避難民の受け入れと支援の現場から～私たちにできること～」
日時：2月7日（火）13：30～17：00
主催：大阪府地域国際化協会・国際交流協会ネットワークおおさか

【職員研修】

- ・ 「事業計画の作成と事業評価について」
日時： 5月20日(金) 14:00～15:00
講師： 松村幸裕子 (NPO 法人暮らしづくりネットワーク北芝コーディネーター)
- ・ 「令和4年度多文化共生実践コース」
日時： 7月6日(水)～9月16日(金)
主催： (公財) 全国市町村研修財団
- ・ 「令和4年度多様性社会を生きる「次世代」の育成～外国につながりを持つ子どもたちへの学習支援～」
日時： 7月25日(月)～7月29日(金)
主催： (公財) 全国市町村研修財団
- ・ 「効果的なイベントをつくる - 企画から周知まで - 」
日時： 8月10日(水) 10:00～12:00、13:00～15:00
講師： 松村直子 (日本ミクニヤ株式会社)
- ・ 「NATS 多文化共生担当者研修」
日時： 2月2日(木) 15:00～17:00
主催： 尼崎市役所 総合政策局 ダイバーシティ推進課
講師： 北原速男 (入管取次申請行政書士)

【理事会・評議員会など】

ア 理事会・評議員会

- ・ 第1回通常理事会： 5月9日(月)
 - 議案第1号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告及び決算書の承認について
 - 議案第2号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算書(案)の承認について
 - 議案第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事候補者の推薦について
 - 議案第4号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会定時評議員会の招集について
 - 報告第1号 理事長職務執行状況報告
- ・ 定時評議員会： 5月24日(火)
 - 議案第1号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会決算書(案)の承認について
 - 議案第2号 令和4年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支補正予算書(案)の承認について
 - 議案第3号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事1名の辞任に伴う補欠理事の選任について
 - 報告第1号 令和3年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告について
- ・ 第1回臨時理事会： 10月11日(火)
 - 議案第5号 協会運営検討ワーキンググループの設置(案)及び設置要綱(案)

について
報告第 2 号 令和 5 年度の事業再編と予算編成等に関する報告

- ・ 第 2 回臨時理事会： 1 月 31 日（火）
 - 議案第 6 号 賛助会員規程改訂（案）について
 - 議案第 7 号 寄付金取扱規程（案）について
 - 議案第 8 号 金融機関からの借入について
 - 報告第 3 号 令和 5 年度吹田市の委託事業等（案）および予算（案）について
 - 報告第 4 号 第 1 回および第 2 回の協会運営検討ワーキンググループの議事要旨について

- ・ 第 2 回通常理事会： 3 月 16 日（木）
 - 議案第 9 号 令和 5 年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業計画書(案)について
 - 議案第 10 号 令和 5 年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支予算書(案)について
 - 議案第 11 号 令和 5 年度公益財団法人吹田市国際交流協会資金調達及び設備投資の見込みについて
 - 議案第 12 号 就業規則の制定について
 - 議案第 13 号 事務局長の任免について
 - 議案第 14 号 令和 4 年度公益財団法人吹田市国際交流協会第 1 回臨時評議員会の招集について
 - 報告第 5 号 クラウドファンディングの実施と中間報告について
 - 報告第 6 号 理事長及び副理事長職務執行状況報告について

- ・ 第 1 回臨時評議員会： 3 月 27 日（月）
 - 議案第 4 号 令和 5 年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業計画書(案)について
 - 議案第 5 号 令和 5 年度公益財団法人吹田市国際交流協会収支予算書(案)について
 - 議案第 6 号 令和 5 年度公益財団法人吹田市国際交流協会資金調達及び設備投資の見込みについて
 - 報告第 2 号 公益財団法人吹田市国際交流協会事務局長の任免について
 - 報告第 3 号 就業規則の制定について
 - 報告第 4 号 クラウドファンディングの実施と中間報告及び金融機関からの借入の見送りについて
 - 報告第 5 号 吹田市多文化共生ワンストップセンター事業報告

イ. 協会運営検討ワーキンググループ会議

- ・ 第 1 回： 12 月 9 日（金） 10:00～12:00
検討案件（報告、今後の日程等）
- ・ 第 2 回： 1 月 16 日（月） 10:00～12:00
検討案件（決算見込みについて、借入について、人員配置について等）
- ・ 第 3 回： 2 月 6 日（月） 13:30～15:00

検討案件：（今後の検討内容について等）

ウ.クラウドファンディングの実施

寄付名称： SIFA 存続のための緊急支援

実施期間： 2月21日～3月31日

寄付方法： (1) WEB（クレジットカード・銀行振込）
(2) 窓口（現金・銀行振込）

寄付状況： 寄付件数 137 件、寄付金額 1,756,560 円

意見交換会：クラウドファンディングを実施することになった背景、2023年度に向けて今年度中止になった多文化まつりの実施方法や他の事業について、今後の協会の活動について意見交換しました。

開催日：2月27日（月）14:30 - 15:30（SIFA 601）

3月12日（日）10:00 - 11:00（SIFA 教室1）

3月25日（土）17:00 - 18:00（SIFA 教室1）

エ. 公認会計士による決算監査の実施

- ・ 令和3年度決算監査：4月27日（水）

オ. 監事監査の実施

- ・ 令和3年度決算監査：4月28日（木）

令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和5年5月
公益財団法人 吹田市国際交流協会